

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 常陸大宮市立大宮小学校

担当教諭名 吽野亮子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成 22年 10月 8日 (金) 9:00 ~ 13:40
対象学年と人数	全学年289人
派遣講師名と出身国	マリー・クリスティーネ・ロレンツ (ドイツ) サラ・サロ(フィンランド) チャーミラ・シャーニ・マリッカアラッチ(スリランカ) ジェフリー・バーク(アメリカ) コーディネーター根本久美子氏
活動の内容	講師紹介、日本の遊びの紹介、 講師のお話(国旗、気候、学校の様子、食べ物、服装、動物、自然など)、 ゲーム、質問コーナー、プレゼント贈呈、会食
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 とても若い講師の先生方(高校生)であったせいか、親しみを感じて接することができました。資料を準備したりして自分の国を伝えてくれました。
生徒・保護者等参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹ぼっくりやおはじきなどの遊びを先生と一緒にやりました。教えてもらったゲームもとても楽しかったです。 ・ マリー先生がドイツのかわいらしいドレスを着て教室に来ました。お話を聞いてドイツのいろんなことが分かりました。教えてもらったじゃんけん遊びたいです。 ・ アメリカでは、牛肉をたくさん食べると聞いて、日本の食事とは違うと思いました。しかし今は、日本食を食べるアメリカ人も増えていると聞いて、日本の食事のよいところを発見しました。 ・ 環境問題について話をしました。アメリカでは州によってゴミの処理の仕方が違うことや水や火の力で発電をしていることも知りました。環境問題は世界中の話題なんだと思いました。 ・ スリランカの民族衣装はとてもきれいな服でした。スリランカの学校は、大勢の児童が1つの学校で勉強していると聞いてびっくりしました。 ・ 世界には貧しい人々がたくさんいます。募金をするという援助だけでなく実際に手助けをする方法は他にたくさんあるということを知りました。 ・ フィンランドの冬の寒さの厳しさを知りました。最低気温は(-55度)だったことや、夏には白夜が続くことを聞きました。一度見てみたいなと思いました。
先生の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな国の民族衣装を着て登場したときは、子ども達は歓声を上げました。地図や写真をもってきたりして、わかりやすく自分の国について紹介してくれました。また、子ども達の発表にも、にこにこしながら話に耳を傾けていました。また、それぞれの国のお話から、言葉や生活習慣の違いに気づくことができました。いろいろな質問をして、子ども達は積極的に交流しようしていました。児童にとっては、普段あまり接することができない国々の文化や言葉に触れることができ、とても貴重な体験でした。

